

テック インフラ Tech Infraだより vol.31

テックインフラは5Gや自動運転だけのもの？

2019年7月1日

政府は既存インフラの法定点検時にドローンを利用できると明確化
収集された膨大なデータの分析や改修計画作成にもテックインフラは欠かせない

政府がドローンの法定点検での活用を明確化

テックインフラを活用して、既存インフラを効率的に改修・整備を試みる動きがさらに活発化しています。日本政府が既存インフラの法定点検時に、ドローンを利用できると明確化したこともその一環と言えます。これまでの技術者による目視点検と比べ、より短時間で、より多くのデータを収集することが可能となります。

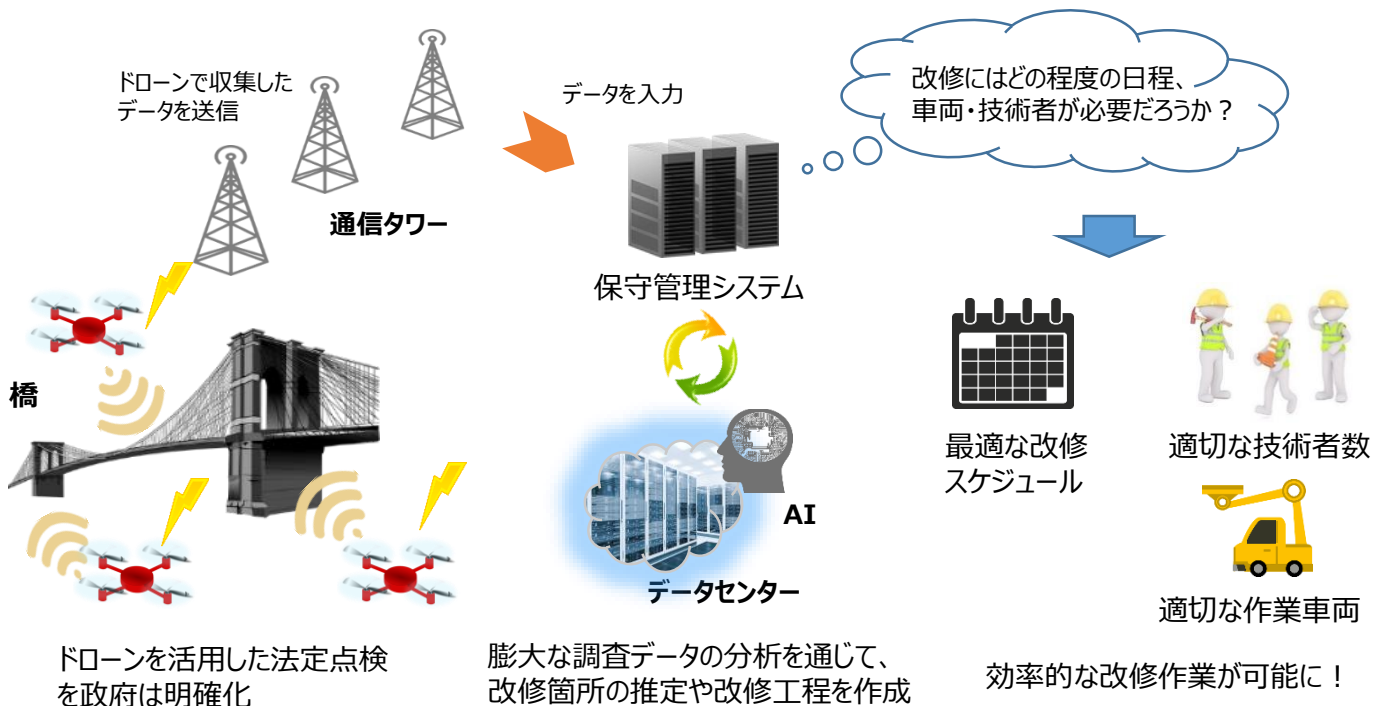
収集データ分析や改修工程の作成を支えるテックインフラ

例えば、道路の保守管理。道路会社が収集した道路・橋などの膨大なデータを分析・管理し、技術者による改修計画等の作成支援を行うシステムがあるそうです。過去の改修工事では、現場に出動した作業車のサイズが合わず、出戻らざるを得ないなど、無駄な労力や時間がかかったケースがありました。このシステムでは、事前に最適な改修工程を作成できるとともに、適切なサイズの作業車や技術員の数を決めるため、作業の無駄がなくなるそうです。

テックインフラへの需要は5Gや自動運転からだけではない

テックインフラは、5Gや自動運転など私たちの生活をより便利にする技術を縁の下から支えるのはもちろん、道路や橋などの既存インフラの保守管理の領域にも浸透しつつあります。既存インフラの更新需要は膨大で、今後これらを支えるという新しい需要も取り込み、テックインフラは更なる成長期待が見込まれます。

【既存インフラの保守管理にも浸透するテックインフラ】



※上記イラストはイメージです。



特設サイト「AIやIoTが引き起こす第4次産業革命を支えるTECHNOLOGY INFRASTRUCTURE テクノロジー・インフラ」公開中。
左記QRコードが読み取れない場合は、2ページ目に拡大したQRコードを載せていますので、ご利用ください。



特設サイト「AIやIoTが引き起こす第4次産業革命を支えるTECHNOLOGY INFRASTRUCTURE テクノロジー・インフラ」公開中。
左記QRコードもしくは (https://www.pinebridge.co.jp/fund/40311181/tech_infra.html) からご覧ください。

ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会